

定例公安委員会の開催状況について

令和5年2月16日（木）に、第6回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 令和5年度「組織整備の重点」について

令和5年度「組織整備の重点」について報告があった。

委員のコメント

- 現状を見定めてフレキシブルに対応した組織整備である。少年サポートセンターによる少年補導専門官の集中運用については、少年補導専門官を複数配置することでお互い刺激しながらレベルアップできるので、効果が上がるよう期待している。
- 時代に即した重点指向である。都市部、地方を問わずSNS利用による犯罪被害少年が後を絶たない傾向にあるので、その対策に万全を期してほしい。
- 情勢に合った組織整備である。特に人身安全関連事案対応に力を入れるのは時宜にかなった施策である。

2 銃砲等一斉検査の実施について

令和5年2月20日（月）から実施予定の銃砲等一斉検査について報告があった。

委員のコメント

- 検査実施要領に基づき、物の確認、書類の確認等、抜けのない検査を実施してほしい。
- 銃砲に関連した違法有害情報を警察としていかに把握するか、その対策を検討してほしい。
- 有害鳥獣駆除のため猟友会との連携は欠かせない。特に猟友会員の後継者育成については警察としても関心を持って対処してほしい。改造銃関係の情報収集も今後の課題である。

3 令和4年中における薬物事犯の検挙状況について

令和4年中における薬物事犯の検挙状況について報告があった。

委員のコメント

- 大麻は山形県においても若年層へのまん延がみられるので、薬物乱用防止教室の開催に力を入れてほしい。中高校生に可能な範囲で具体的事例を紹介して啓蒙してほしい。薬に抵抗感のない子供が増えていることを懸念している。
- 大麻を使用すると多幸感があり常習性につながる。SNS利用についてサイバーパトロールで目を光らせてほしい。暴力団の存在を念頭に薬物乱用防止啓発と事件検挙を図ってほしい。
- 大麻はSNSで入手できたり自宅で育てられるなど若年層にも拡散しやすいことから、遊び半分で手を出す者が多いのではないかと懸念している。薬物乱用防止について若年層に浸透させるよう厳格な対応を願いたい。